

2023年10月23日（場所：日薬連会議室）に日本医薬品原薬工業会（以下、原薬工）と日薬連品質委員会（以下、当委員会）との交流会が開催されました。

このたび、原薬工の体制及び方針等の見直しに関連して、今後の連携強化を視野に入れ、原薬工と当委員会との交流会が初めて（第1回）開催されました。原薬工からは会長、副会長（兼 総務経済委員会委員長）、GMP委員会委員長及び法規委員会委員長、事務局長の5名、当委員会からは委員長を含め4名が参加しました。以下、簡単に内容をご紹介します。

◎当委員会からの説明（13時50分～15時30分）

当委員会の概要（組織及び加盟団体）、主な活動（GMP省令改正・PIC/S GMPガイドライン・GQP,GMP及びGDP・改正薬機法施行に関する諸対応の推進、品質確保に向けた実効的な対策検討、安定供給への対応）、説明会・研究会の開催状況（代用法、ニトロソアミン、医薬品GQP・GMP研究会）、厚生労働科学研究テーマへの協力（櫻井班、廣瀬班、蛭田班）等について説明しました。

◎原薬工からの説明（15時40分～17時）

原薬工の概要（組織及び加盟 100 社）、主な活動（三委員会、日薬連品質委員会との過去の連携活動）、総務経済委員会の活動（目的、定期総会）、GMP 委員会の活動（目的、月例会、定例会、GMP 実務担当研修会、加盟 11 社）、法規委員会の活動（目的、月例会、CTD モジュール 3 記載例作成、委員 23 名）等について説明がありました。

国産原薬の重要性について、双方の意見が一致した他、活発な意見交換が行われ、今後の連携強化の必要性が確認でき、非常に有意義な交流会となりました。

以上